

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年11月14日

上場会社名 林兼産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2286 URL <https://www.hayashikane.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中部 哲二
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 金子 岳夫 (TEL) 083-266-0210
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	20,873	3.3	55	△90.1	101	△84.8	11	△97.3
2022年3月期第2四半期	20,204	—	558	△11.1	670	△6.9	412	△58.9

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 3百万円(△99.3%) 2022年3月期第2四半期 499百万円(△63.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	1.29	—
2022年3月期第2四半期	46.98	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。このため、2022年3月期第2四半期の売上高の対前年同四半期増減率は、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	29,439	9,653	32.8
2022年3月期	26,492	9,768	36.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 9,653百万円 2022年3月期 9,768百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	15.00	15.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	△1.0	250	△65.7	350	△61.8	300	△57.6	34.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	8,910,000株	2022年3月期	8,910,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	88,123株	2022年3月期	117,523株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	8,805,077株	2022年3月期2Q	8,778,747株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大があったものの、経済活動の正常化が徐々に進み、景気は緩やかに持ち直しました。しかしながら、食品業界におきましては、ウクライナ情勢の長期化や更なる円安の進行により原材料価格やエネルギーコストが高騰するなど、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のなか、当社グループは本年4月に「中期経営計画<挑戦>Phase II <<challenge2024>>」(2023年3月期~2024年3月期)を策定し、スタートさせました。前中期経営計画に引き続き、変化を恐れぬ挑戦を継続し、経営資源の更なる選択と集中による構造改革を推し進めて収益力をより強固なものにするとともに、環境負荷の軽減(温室効果ガス排出量削減や地球温暖化対策)に努めるなど、事業活動を通じてSDGsの達成に貢献することを目指しております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、外食需要の回復に伴う食肉加工品の販売数量増加、および原材料価格やエネルギーコストの高騰に対応するために行った食品・飼料の価格改定により、208億73百万円(前年同期比3.3%増加)となりました。しかしながら、損益面におきましては、価格改定が原価の高騰分に追い付かず、また、前連結会計年度に行ったグループ再編の影響もあり、営業利益は55百万円(前年同期比90.1%減少)、経常利益は1億1百万円(前年同期比84.8%減少)、親会社株主に帰属する四半期純利益は11百万円(前年同期比97.3%減少)となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメントの業績は、次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来「機能・食品事業」としていた報告セグメントの名称を「食品事業」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

①食品事業

機能性食品におきましては、機能性食品素材エラスチンの海外向け販売数量が増加したことにより、増収となりました。

魚肉ねり製品におきましては、海外向けの販売数量が落ち込んだことにより、減収となりました。

ハム・ソーセージ等食肉加工品におきましては、外食需要が回復しつつあることにより販売数量が増加し、増収となりました。

肉類におきましては、飼料価格の高騰などに対応するため自社ブランド「霧島黒豚」および国産豚の価格改定を行ったことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は110億1百万円(前年同期比5.8%増加)となりました。損益面におきましては、価格改定が原価の高騰分に追い付かず、セグメント利益(営業利益)は57百万円(前年同期比69.8%減少)となりました。

②飼料事業

養魚用飼料ならびに畜産用飼料におきましては、原材料価格高騰に対応した価格改定により増収となりました。

水産物におきましては、相場が堅調に推移したことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は98億51百万円(前年同期比12.1%増加)となりました。損益面におきましては、価格改定が原価の高騰分に追い付かず、セグメント利益(営業利益)は5億14百万円(前年同期比30.2%減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は294億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億46百万円増加しました。流動資産の増加（前連結会計年度末比30億75百万円増加）は、主に現金及び預金が5億64百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が31億97百万円増加したことなどによるものであり、固定資産の減少（前連結会計年度末比1億28百万円減少）は、主に有形固定資産が2億14百万円減少したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は197億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億61百万円増加しました。流動負債の増加（前連結会計年度末比30億21百万円増加）は、主に買掛金が9億75百万円、短期借入金が21億63百万円増加したことなどによるものであり、固定負債の増加（前連結会計年度末比39百万円増加）は、主にその他に含まれるリース債務が1億24百万円減少したものの、長期借入金が1億11百万円、退職給付に係る負債が30百万円増加したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は96億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億14百万円減少しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を11百万円計上したものの、配当金の支払いによる利益剰余金の減少が1億31百万円あったことなどによるものです。この結果、自己資本比率は32.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、財務活動によるキャッシュ・フローは増加したものの、営業活動によるキャッシュ・フロー、投資活動によるキャッシュ・フローの減少により、前連結会計年度末に比べ8億77百万円減少の10億64百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は22億11百万円（前年同期は17億4百万円の減少）となりました。これは主に仕入債務の増加額が8億26百万円あったものの、売上債権の増加額が32億48百万円あったことなどによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は3億23百万円（前年同期は1億40百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が2億7百万円あったことなどによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は16億55百万円（前年同期は11億33百万円の増加）となりました。これは主に短期借入金の純増加額が18億55百万円あったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、原材料価格やエネルギーコストの高騰など依然として厳しい経営環境が続くと考えられます。

こうしたなか、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は概ね予想どおり推移していることから、2022年5月13日に発表した通期の業績予想に修正はありません。

今後、経営環境等の変化により業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,952,350	1,387,805
受取手形及び売掛金	4,261,540	7,459,479
商品及び製品	2,103,667	2,132,849
仕掛品	2,152,107	2,129,961
原材料及び貯蔵品	2,077,465	2,159,376
その他	884,874	1,251,053
貸倒引当金	△46,663	△59,287
流動資産合計	13,385,341	16,461,239
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,852,745	2,812,323
土地	3,037,357	3,037,357
その他(純額)	2,868,268	2,694,276
有形固定資産合計	8,758,371	8,543,957
無形固定資産	14,221	14,547
投資その他の資産		
投資有価証券	3,600,354	3,615,281
その他	1,708,782	1,766,801
貸倒引当金	△974,619	△962,452
投資その他の資産合計	4,334,517	4,419,630
固定資産合計	13,107,110	12,978,135
資産合計	26,492,452	29,439,374
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,284,251	3,260,045
短期借入金	6,459,174	8,622,192
未払法人税等	37,515	110,824
賞与引当金	251,590	313,489
資産除去債務	111,400	—
その他	1,877,278	1,736,281
流動負債合計	11,021,209	14,042,833
固定負債		
長期借入金	1,839,478	1,950,772
退職給付に係る負債	1,885,531	1,916,210
その他	1,978,046	1,875,585
固定負債合計	5,703,056	5,742,568
負債合計	16,724,265	19,785,401

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,415,020	3,415,020
資本剰余金	6,617	2,981
利益剰余金	5,515,080	5,392,662
自己株式	△78,377	△58,789
株主資本合計	8,858,339	8,751,874
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	876,327	874,478
繰延ヘッジ損益	7,771	3,031
退職給付に係る調整累計額	25,747	24,587
その他の包括利益累計額合計	909,846	902,097
純資産合計	9,768,186	9,653,972
負債純資産合計	26,492,452	29,439,374

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	20,204,365	20,873,710
売上原価	17,087,434	18,453,757
売上総利益	3,116,931	2,419,952
販売費及び一般管理費	2,558,234	2,364,425
営業利益	558,697	55,526
営業外収益		
受取配当金	73,322	60,382
その他	109,486	89,429
営業外収益合計	182,808	149,812
営業外費用		
支払利息	63,907	58,529
為替差損	—	41,405
その他	7,010	3,642
営業外費用合計	70,918	103,577
経常利益	670,587	101,762
特別利益		
固定資産売却益	—	701
投資有価証券売却益	—	926
特別利益合計	—	1,627
特別損失		
災害による損失	—	44,303
その他	3,072	8,685
特別損失合計	3,072	52,989
税金等調整前四半期純利益	667,514	50,400
法人税、住民税及び事業税	231,616	68,272
法人税等調整額	△26,630	△29,186
法人税等合計	204,985	39,085
四半期純利益	462,528	11,314
非支配株主に帰属する四半期純利益	50,139	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	412,389	11,314

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益	462,528	11,314
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40,139	3,846
繰延ヘッジ損益	△3,217	△4,740
退職給付に係る調整額	335	△1,159
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△5,695
その他の包括利益合計	37,257	△7,748
四半期包括利益	499,785	3,565
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	451,366	3,565
非支配株主に係る四半期包括利益	48,419	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	667,514	50,400
減価償却費	419,969	366,593
持分法による投資損益(△は益)	△10,840	△17,568
固定資産売却損益(△は益)	—	△667
固定資産除却損	3,072	8,651
株式報酬費用	4,175	7,703
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△926
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△2,489	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11,739	456
賞与引当金の増減額(△は減少)	83,714	61,898
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	51,066	29,011
受取利息及び受取配当金	△73,342	△60,395
支払利息	63,907	58,529
為替差損益(△は益)	289	△1,440
災害による損失	—	44,303
売上債権の増減額(△は増加)	△1,716,193	△3,248,262
棚卸資産の増減額(△は増加)	△406,740	△88,947
仕入債務の増減額(△は減少)	302,889	826,116
未払金の増減額(△は減少)	△230,032	△147,155
未収消費税等の増減額(△は増加)	△44,563	93,346
未収入金の増減額(△は増加)	△407,293	△299,041
未払消費税等の増減額(△は減少)	△29,851	△11,110
その他	△38,526	14,879
小計	△1,375,013	△2,313,624
利息及び配当金の受取額	73,342	63,585
利息の支払額	△63,927	△58,549
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△338,791	97,532
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,704,389	△2,211,055
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△555,000	—
定期預金の払戻による収入	655,000	—
有形固定資産の取得による支出	△240,997	△207,902
有形固定資産の売却による収入	—	2,011
無形固定資産の取得による支出	△3,901	△2,175
投資有価証券の取得による支出	△2,367	△2,712
投資有価証券の売却による収入	—	2,886
資産除去債務の履行による支出	—	△116,490
その他	7,041	1,004
投資活動によるキャッシュ・フロー	△140,224	△323,377

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,150,000	1,855,000
長期借入れによる収入	799,000	499,000
長期借入金の返済による支出	△489,614	△392,968
リース債務の返済による支出	△151,983	△174,850
配当金の支払額	△131,364	△131,014
非支配株主への配当金の支払額	△12,310	—
自己株式の取得による支出	△30,454	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,133,273	1,655,167
現金及び現金同等物に係る換算差額	△289	1,440
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△711,629	△877,825
現金及び現金同等物の期首残高	1,976,245	1,942,350
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,264,615	1,064,524

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	食品事業	飼料事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,401,553	8,787,063	19,188,617	1,015,748	20,204,365
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,793	840,468	844,261	284,877	1,129,139
計	10,405,346	9,627,532	20,032,879	1,300,626	21,333,505
セグメント利益	191,130	738,000	929,130	109,823	1,038,953

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、情報処理事業及び冷蔵倉庫事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	929,130
「その他」の区分の利益	109,823
セグメント間取引消去	673
全社費用(注)	△480,929
四半期連結損益計算書の営業利益	558,697

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	食品事業	飼料事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,001,563	9,851,017	20,852,581	21,129	20,873,710
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	1,030,778	1,030,779	—	1,030,779
計	11,001,564	10,881,796	21,883,360	21,129	21,904,489
セグメント利益	57,757	514,807	572,565	16,378	588,944

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない不動産事業です。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	572,565
「その他」の区分の利益	16,378
セグメント間取引消去	△8,810
全社費用(注)	△524,607
四半期連結損益計算書の営業利益	55,526

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントの変更に関する情報

第1四半期連結会計期間より、従来「機能・食品事業」としていた報告セグメントの名称を「食品事業」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。